

石原産業株式会社



<主な業務内容>
米穀雑穀類卸売業
ビルメンテナンス業
KES ステップ 1 登録日
2006年 7月 1日



石原社長(右)と井手上統括管理部長

今回お邪魔しましたのは、南栄町(鹿児島市)の「石原産業株式会社」さんです。



『粹』なはからい

最近では、「北海道産」のお米が品種改良でとても美味しくなっており、人気があるとのこと。これも地球温暖化が関係しているようです

全国的な米を取り扱っている商品の中に、「長野産」と「石川産」のブレンド米があり、毎年社員で実食して調合を決める『粹』という商品。「コーヒーでもブレンドされているのは、美味しさがより際立ちますよね、お米も一緒だと思います。」と納得の説明。しかも、スーパーでは取り扱っていないとなると、どうしても食べたくなりお聞きすると「いいですよ、何キロほしいですか?」と快く販売してくださいました。

精米したばかりでとても瑞々しく、美味しくいただいております。毎月事務所に伺いますので、宜しくお願いします。



主力商品「粹」

震災後、放射能などの影響を受けていない九州のお米が、全国的に人気で、関東から北の業者さんが大量に買って、品不足の状態。そのため、新規開拓はしていない。「量は限られているが、その中でもお客様に喜んでいただける良い品を提供していきたい」と石原社長。お米に対する、思い入れが感じられました。



最新の省エネ精米機

お米を管理している大きな倉庫は、常に温度が 13 に設定されています。実際に中に入ると寒いくらいでした。これだけの広さを冷やすので、この冷気を活用できないかと検討。そこで、倉庫とその隣にある事務所の間の壁に穴を開け、換気扇で冷気を取り入れていました。これにより、夏のエアコンの電気使用量削減に繋がっていました。



また倉庫の断熱の為の外壁補修を検討中とのことでした。

事務所はプレハブ構造の為、2階会長室は夏場、庇などを利用して室温を下げているとのこと。大きな雨水タンクの設置、また、キュービクルの見直しで、電気契約の方法を変更したことが経費削減になっていました。

また、ホームページ作成も進めており、費用はかかるが使用する事務員が一番使いやすいもの、何よりお客様が見やすいように・・・と「喜ばれるものを」と常に考えていることが伝わってきました。

環境を考慮



雨水タンク

もう一つの業務の「ビルメンテナンス」。

清掃工場の運転、市電の整備、温泉施設の設備管理、公共施設の空調・ボイラー等の設備管理・環境衛生業務と幅広く携わっています。

病院等での作業が多く、剥離剤を使わず廃液も出ない、環境にやさしい清掃資材や作業方法に替えていこうと考えています。常駐している従業員も多く、現場が分かれている為、方針を一本化するのとは、とても難しいことから、月一回の安全とマナー向上のための研修・会議と、年一回の労働安全大会も行っています。

作業機動班については、作業現場の場所によって、移動距離が違い、ガソリン使用量も大幅に変わってくるという課題も。

KESを始めて良かった事をお聞きしたところ、『県外など取引先等で「KESに取り組んでいる」という話をすると、先方から環境に良い商品・製品を教えてくれる。とても役立っています。』とのこと。そこから、新事業が展開することを思うと、私共もお役に立っている気持ちになり、嬉しくなりました。

今回も貴重なお時間に、取材へのご協力いただき本当にありがとうございました。

武田